



第75号
6月定例会
平成28年7月20日

こんにちは

豊丘村議会 です



6月定例会

- 6月定例会の様子 2~3ページ
- 補正予算の質疑より 4~5ページ
- 8人が一般質問 7~14ページ
- 委員会から 15ページ
- JR源道地を断念 18~19ページ

福島棚田

オーナーによるお田植え

写真の説明はP.19



着々と進む新焼却場建設（下久堅 稲葉クリーンセンター）

平成28年 第2回定例会 リニア残土 請願は不採択

国保税は9年連続引き上げ

平成28年第2回定例会は、6月1日から22日迄の、22日間の会期で開かれた。

開会日には承認案件9件（27年度補正予算他）同意案件1、条例改正案3件、条例制定2件、28年度補正予算3件が上程され、即決又は、委員会付託となった。又、請願は3件で、委員会付託された。「村の駅とよおか」議会特別委員会を設置する事を議決、これで議会内には、リニア特別委員会と合わせ2つの特別委員会が作られた。

最終日には、村簡易水道遠隔監視システム整備費1億7604万円の工事契約など、全ての承認案件、議案、人事同意案件は、原案通り可決された。

一方、請願3件の内、2件は採択され、それぞれ意見書を国会、及び政府へ提出した。しかし、リニア残土NO！小園の会より出されていた、リニアトンネル工事発生土処分候補地報告をとり下げる請願は、委員会では採択されたものの、本会議では可否同数となり、異例の議長裁決権行使により、不採択となった。

一般質問では8人が、村政全般について質問した。

国保税4・9%引上げ

国民健康保険税の税率を定める条例の改正案が、上程された。

本年は医療費の上昇分を、毎年取り崩してきた財政調整基金残高1612万円余をすべて取り崩しても、見通しが立たず、一人当たり平均4・9%の値上げ案が示された。

本改正案は、総務産建委員会に付託され、例年

通り社会文教委員会との連合審査を行った。「応納(所得割資産割)より、応益(均等割・平等割)を増やすべき」「一般会計から繰り入れるべき時が来た。」と言った意見が出されたが、原案通り承認、直後に開かれた本会議で可決された。

一般会計補正予算

開会日に提出された第1号補正は、予算委員会に付託され、最終日に本会議で議決された。

本会議では、村の駅建設に伴う道路設計委託料500万を削除する修正動議が提出されたが否決、補正額1億5065万1千円を追加する、総額46億65万1千円の一般会計は原案通り可決した。主なものは・・・

◎城見田線交差点へ信号機設置に……………800万円

信号機設置に伴う村負担分400万円と、防犯灯分400万円。

◎宝くじコミュニティー事業助成金……………190万円

林原・木門のまつり道具に160万円、林里まつり道具に30万円。

◎福祉施設整備工事費……………210万円

憩の家風呂、勤福センター雨どいの修繕費用。

◎佐原区民会館の施設整備へ……………730万円

施設整備工事に550万円、器具購入費に180万円。

◎天恵製菓浄化槽設置補助として……………5278万円余

天恵製菓が独自で浄化槽設置に伴い、浄化槽迄の排水管布設工事の、測量設計及び、排水管布設工事の補助金。

◎道路維持補修工事に……………1990万円余

通園バスが、南保育園入口から古瀬の会所へ廻って行ける様にする工事他。

◎道路測量設計監督委託料に……………500万円

道の駅開設に伴う道路改良測量設計。

◎住宅団地造成事業として……………2550万円

今年度新たに、柿外土地籍へ三区画の宅地を造成するもの。

6月議会請願陳情について

●請願 (17P参照)

・国の責任による35人以下学級推進と、教育予算の増額を求める意見書提出に関する請願

＜採 択＞

請願者 豊丘村学校教職員組合
執行委員長 小島康弘

●請願 (17P参照)

・義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願について

＜採 択＞

請願者 豊丘村学校教職員組合
執行委員長 小島康弘

●請願 (18・19P参照)

・リニア中央新幹線トンネル工事発生土処分候補地の報告取り下げを求める請願

＜不採択＞

請願者 リニア残土NO!小園の会
会長 原 道治

採択された2つの請願は、国会と政府に「意見書」として送付した。



柿外土地籍の宅地造成予定地

予算質疑から

に補助 昨年8月の陳情に終止符

天恵製菓浄化槽移転へ補助内容は

排水管用を村で

松下議員 説明を。

環境課長 浄化槽は自前でやるが、排水管用を村に要望された。

長野県土地改良事業団体連合会との契約が個人では難しいので、設計委託料と排水管用を村負担で。

唐澤(健)議員 どの会社も自前でやることだ。今後他の会社にも適用されるのか。

環境課長 昨年8月の陳情から解決策を協議してきた。規則だと浄化槽の入れ替えは80%補助規定があるが金額が大きい。村の都合で下水道接続を断った経緯もある。

唐澤(啓)議員 今後の対応について理事者の考えを。

村長 陳情の落としどころ。今後はケースバイケース。

片桐(忠)議員 金額だけで判断すると、今後公平性に欠ける。浄化槽への補助なら整合性が取れる。

平澤議員 規則は個人・企業の区別があるのか。

環境課長 明記なし。唐澤(啓)議員 規則に当てはめるのは無理がある。政治的判断が妥当。



天恵製菓の浄化槽移転予定地 (伴野堤防沿い)

危機管理の勉強は

今は余力なし

片桐(忠)議員 下水道区域に入った企業は村の税金で処理されるが、合併浄化槽区域に入った企業は自前でやるというのも無理がある。

は起きないだろう。吉川議員 村内の優良企業が村外へ出てしまわないよう、政治的判断で。今後の企業誘致にも関わる。

川野議員 熊本地震被災地への人的支援をして勉強したらどうか。

滝川議員 企業版の補助規定を作ればスツキりする。そうあるべき。

総務課長 全国町村会へ熊本県から要請があったが、出せる余力がない。保健師を派遣したかったが、無理だった。大きな市で危機管理担当の部局がある所は支援をしている。

松下議員 黒谷線に大きな石をロープで巻いてあるものが10個ほどあるが。産業建設課長 平成23年に200万ほどかけてワイヤーでつった。個人の所有地なので理解が必要。

松下議員 島根県で落石により一人亡くなったが、村の危険ヶ所管理は。産業建設課長 専門担当はいないので、職員が出向いた際に見る。



一般会計補正

天恵製菓の浄化槽移転

村の駅進め方に疑問

〓賛同得たと思う〓

唐澤(健)議員 議会は村の駅特別委員会を設けて良い事業にしようとしているのに、住民説明会をやったからよしと予算を出してくる。場所はいつ決定としたのか。

産業建設課長 4月の林里説明会や地主の了解も得ている。地元や住民の賛同を得た時が決定と考える。

唐澤(啓)議員 当初予算審議の中で、法人化も含めて実際にやる人達の意見が反映されることを願って付帯決議をした。今、この予算を出す時なのか。もつと慎重に。

村長 警察、国土交通省との協議で場所決めの必要がある。悪いと言うなら対案を出して。ただし、意見を全て聞けるものでもない。



「村の駅」特別委員会の視察（道の駅あおきにて）

新万年橋架橋の見通しなど考慮し、準備委員会で候補地を林里と決めた。

唐澤(啓)議員 直売所関連をもつと早く進め

議員の意志表示一覧表 (全員賛成除く)

<平成28年 6月 第2回 定例会>

○…賛成 ▼…反対

件名	審議結果	竹村直子	滝川利秋	平澤恒雄	片桐忠彦	唐澤健	酒井浩文	吉川明博	松下亨	井原康明	片桐義憲	松村正三	唐澤啓六	川野孝子	下平豊久
条例 国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	▼	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○
予算 平成28年度 豊丘村一般会計補正予算第1号について	原案可決	○	○	○	○	▼	○	▼	▼	○	○	○	▼	○	○
請願 リニア中央新幹線トンネル工事発生土処分候補地の報告取り下げを求める請願について	不採択	○	○	退席	▼	○	▼	○	○	▼	▼	▼	○	▼	▼

※通常議長は議決には加わらないが、可否が同数の場合に最終的な判断を議長が決定する権限を持っている。今回は、1名退席し可否同数となった。

いっぱんしつもん

— 8人の議員が村政を問う —

【1日目】 6月14日

1. 吉川 明博 (7ページ)
 - ・ 24時間ソフトボール大会見直しについて
 - ・ 豊丘村6次産業化プロジェクト「村の駅とよおか(仮称)」について
 - ・ リニア中央新幹線について
2. 川野 孝子 (8ページ)
 - ・ 天竜川架橋の取り組みの現状について
 - ・ 公民館学習会の取り組みについて
3. 唐澤 健 (9ページ)
 - ・ 給食と食育について
 - ・ 村の駅(仮称)に関して
 - ・ 学童期から生活習慣病の予防を
4. 滝川 利秋 (10ページ)
 - ・ 「リニア残土NO!小園の会」の皆さんの切実な要望について
 - ・ 今こそ、「豊丘村桃団地」設立を
 - ・ パブリックコメントによる住民意見公募の手法に異議あり
5. 竹村 直子 (11ページ)
 - ・ 大規模災害対策について

【2日目】 6月15日

6. 唐澤 啓六 (12ページ)
 - ・ 介護予防「新総合事業」について
 - ・ リニア中央新幹線トンネル残土の処分について
7. 松下 亨 (13ページ)
 - ・ 村の駅(仮称)事業について
8. 平澤 恒雄 (14ページ)
 - ・ 食べずに捨てる食品ロスの軽減について
 - ・ A E Dの配備と性能維持について
 - ・ ゴミ出しへの支援について



24時間ソフトボールの見直しはしたか

答 スポーツ推進審議会で検討中

吉川 明博 議員

質問 昨年度12月定例会一般質問で見直しを提案をしたところ、「検討をする」と答弁があったが検討の経過と結果の説明を。

教育長 とよおか四季大学大学院の講座で24時間ソフトボールなどスポーツ大会のあり方について合計10名に討議、意見をいただいた。

教育委員会は5月1日にスポーツ推進審議会要綱を制定し、5月26日に第1回を開催した。例年の開催時期8月の盆過ぎあたりに結論は出さなければならぬ状況にあるので、24時間ソフトボールに関わりのあるチームと、近辺の市町村のスポーツ大会のあり方についても、飯田下伊那12町村にアンケートを実施している。6月17日の第2回スポーツ推進審議会で審議する。

村の駅進捗状況は

答 まずは鳥瞰図ちようかんずを作成その後基本設計

質問 現状はどうか。

統括支配人 3月末に住民説明会、4月に建設予定地(林里)地元説明会、地権者との合意形成5月にはこれまでの意見を反映した村の駅基本計画を準備委員会で承諾を得た。

今後は新法人の設立までに全体の鳥瞰図でイメージを持つていただいで説明会で意見をお伺し、村の駅全体の基本計画、基本設計も並行して進めていく。

質問 今後の発起人会、設立総会等は限られた人による会合が予測されるが、その開示をどのようにするか。
産業建設課長 毎月「村の駅だより」を届けて意見を承る機会を設けている。2回目の会議で法人の名称を「株式会社豊かな丘」と決定。開設準備委員会の各部門で議論を

リニア中央新幹線事業の動きは

答 源道地の発生土処分候補地は白紙に

質問 経過の説明を。

総務課長 リニア対策委員会は5月18日に開催した。中部電力が3月9日から4月30日の間に新変電所と送電鉄塔の計画を地元と地権者等へ説明(佐原・福島・大柏・林原・木門)。JRは5月26日に戸中の発生土置き場候補地の地権者説明会を全地権者の参集を求めて開催。伴野区の源道地の発生土置き場は5月26日に村として村長がJRに対して白紙撤回の要望を行った。5月31日に地元

重ね全体を進める。施設の名前については、公募による。
提案 村長の発言によると過半数51%を村が出資し、団体の経営の主導権を村が維持をして行くこと示されている第三セクター方式、公共と私企業

小園の方々から議会あてに取りやめを求める請願書も出されて、昨日リニア特別委員会の審議が終わった。6月8日源道地の発生土処分候補地の調整会議は村、豊丘村、長他2名、県リニア推進局及びリニア整備推進事務所次長他4名、伴野区長、伴野原自治会長、JR東海2名を交えて行い、源道地の白紙撤回の確認を5者で行い6月9日に公表をした。
質問 村長は村民の立場での発言を望む。

が資金を出資して作っていく法人。
今後は発起人委員会から取締役会に変わっていくが、損失補填など村と覚書等を交わして計画づくりをしていくことを提案する。

村長 小園での反対の先に立った皆さんは、埋める場所の牛草川に非常に近い方々が多い。そういう意味では、ご迷惑をかけて申し訳なかったというところをこの場をお借りして謝らせていただきます。

盛土は安全 めんこ キ・ケ・ン? - かんてい詰して 考えよう -
お話し、伊那谷の地形に詳しく、阿智村の「リニア対策委員会」でもお話しされている。
桂川 雅信さん
H28 4月12日(火) (参加料は無料です)
小園研修センター2階会議室 19:00 から
その他、南の沢・牛草沢の、スライド上映と
リニア関連の3月議会報告も あります。
多くの方の参加を お待ちしています。
宇田島貞人 豊田浩吉 飯塚和門 吉川明博



新万年橋流況解析はどこまで進んでいるのか

答 6月末には県の結果が出ると聞いている

川野 孝子 議員

質問 先ず、松川町の宮ヶ瀬橋の架け替えの進捗状況を聞きたい。
産業建設課長 平成28年1月河川占用許可がおりた。平成27年度の事業として、竜西側の橋脚を1基県として発注している。28年度の事業として、竜東側の橋脚1基を予定している。

質問 新万年橋は、河床変動が激しいと言われている。国の河川占用許可を得るために、流況解析が必要という事で、県として取り組んでいるが、流況解析はどこまで進んでいるか。

産業建設課長 27年度の繰り越しで実施され、今月末までには解析、分析が出来ると聞いている。

質問 流況解析の結果で国と交渉に入ると思うが村として見通しをどのように考えているか。

産業建設課長 橋脚を深くすれば、頑丈に出来るが護岸への影響も考慮しなくてはならない。国の河川占用許可を得られるかは、今の段階ではわからない。

質問 橋のかかる位置について、2案と3案がある。地元河野地区が望んでいるのがほぼ、まっすぐな2案だが、角度が川に対して83度。

質問 公民館の学習会は長い歴史があり現在までいろんな取り組みをして頂き、多くの会員の人たちが参加していると思う。平成28年度の事業計画が、今までと変わってきている。最近何年間どんな事業をしてきたのか。又、28年度の会員数は何人か。

教育長 基本的に健康をベースにした運動や

公民館学習会の取り組みについて 答 学習することが生きていく力になれば

県が考えている3案は90度と聞いている。地元との協議が今後大きな問題になると思うが、**村長** 当然その事が問題になってくると思う。村の方にも相談があれば考えていきたい。

要望 1日も早く橋を架けてほしいという思いを村はしっかりと持ち続けてもらいたい。

質問 公民館の学習会は医療、又心の健康等が中心的な企画だった。会員数は今まで160名前後だったのが28年は103名となっている。

質問 28年度の企画をみると学ぶということに重点がおかれ、楽しみながらというのが少ないと思うが。

教育長 学習することが生きていく力に少しでもなればと考える。学

習会自体が楽しみであり意義あることと理解もしている。

質問 学習会の中のバスハイクは多くの会員が楽しみで参加しているが28年度の予算にバス借り上げ料が計上されていないがどういうことか。



平成25年7月25日 笑顔あふれるバスハイク (公民館学習会)

教育長 公民館の与えられた予算の中で新しい事業の取り組みも進めている。配分を少し考えさせて頂いた。バスハイクの個人の負担増が余り多くならない形での工夫をしたい。



村の駅直売品を給食へ

答 直売所にとってお客様として位置づける

唐澤 健 議員

質問 ①給食における肉と魚の割合は、②豊丘産の野菜の割合は、③食材の国産と輸入の割合は、どのようになっているか。

教育長 ①肉対魚は6対4 ②30品目中1品目③学校は基本国産、保育園は80%国産。

質問 パンとソフト麺のラーメン風での使用小麦粉の生産地割合は、県産5割、北海道産2割、外国産3割と聞いている。大塚貢さんは旧真田町教育長の時、学校に子ども達が世話をする花壇を作り、給食の食材から添加物を無くし、ご飯と魚と野菜を中心に變更し、学力が向上しアレルギーを改善した。宮田村では、村内農家で作る学校給食を育てる会と連携し地元産野菜を50%使用している。給食に地元産の目標を持つことと食育教育を。



豊丘中学校「心の花壇」

質問 学童期からの生活習慣病の予防で、血液検査の結果は。

健康福祉課長 糖尿病に関する検査で基準値を超えたのは、中学2年生では24年8・6%、25年13%、26年11・9%、27年12・5%、28年7・7%で、小学5年は28年5・6%で、経過観察でよい。

質問 運動会の時コンビニに弁当を買いに行くのでなく、親が作ったものを食べさせるのは教育的にも大切。ま



教育委員会事務局長 食育として親の愛情のこもった調理がある。学校、村の保健師、栄養士と相談し取り組み方を検討する。

6次産業化に 協力隊員を スタッフとして 積極的に検討する

質問 無農薬減農薬を
目指す協力隊、農産物
を活用した商品開発に
取り組む協力隊の募集
を。

産業建設課長 協力隊
は有効な制度なので積
極的に考える。

教育長 どの誰が
作ったものが分かる
ことは大事だ。子ども達
には「ばくばく通信」で
食育している。
質問 家庭の様子は夕

学童の血液検査を 増やしては

答 科学的根拠を踏まえ
回数、項目を検討

食に肉食が多い。高い
魚を給食に出すために
村の援助を。
村長 現場の声が出れ
ば考える。
質問 村の駅の取り組
みに給食への協力を位
置づけるのはどうか。
産業建設課長 給食へ
の地元農産物提供は大
切な取り組み。定期的
なお客様という観点か
ら重要な位置づけにな
る。



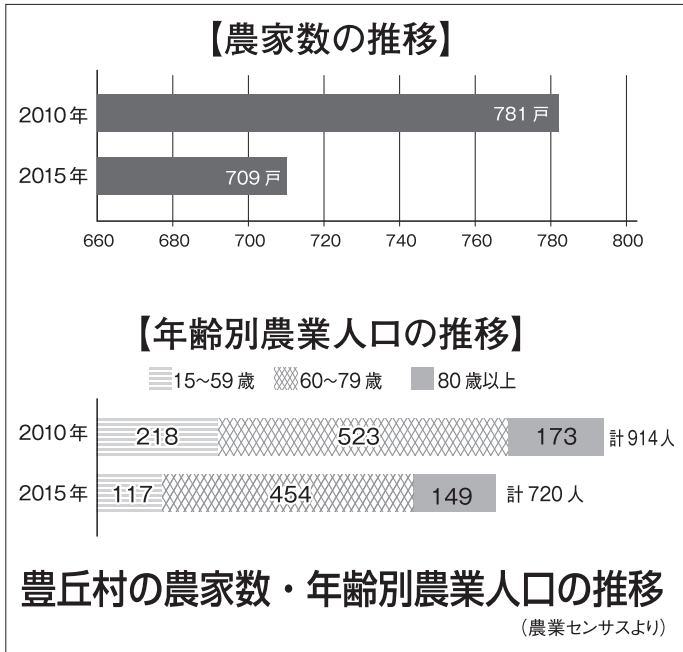
「リニア残土NO!小園の会」切実な要望を共有して

答 JR がとり下げ解決した

滝川 利秋 議員

質問 小園の皆さんがリニアトンネル工事の発生土処分候補地とされている源道地について学習を重ね、埋め立てに対する安全性の疑問、なぜ知らないうちに埋め立て地になったのかという過程に対する疑問や不安な気持ちの一つになって、多くの署名を集め、住民運動として議会へ請願が出された。同じ村民としてこの問題を正しく理解、共有する為質問する。平成25年9月26日伴野原自治会から「残土を利用した災害防止策のお願い」が村に提出され、10ヶ月後に村は県へ発生土処分候補地として提案しているが、その間どの様な検討がされ、県へ報告したのか、又報告にあたり、地権者、周辺への説明はどうだったか。

総務課長 その間、現地を見て、どんな形状なのかを積み重ねてき



た。村内各団体から出された候補地についても、埋め立て土量の試算を行っていた。又、事前の地権者の同意、周辺への説明は、県の候補地公募の必須要件ではなかった。

質問 今回の小園の皆さんの住民運動を担当課長としてどう感じているか。

総務課長 測量への地権者の同意が得られず、残念。下流域への説明

は非常に難しい。今後十分注意すべきと感じている。

質問 村はJRに対しては源道地を処分候補地として断念する様言っているのになぜ県への候補地取り下げを

答 増産の必要を感じる…

質問 農業就業人口の動向と、ふるさと納税返礼品の桃は足りてい

今こそ豊丘村桃団地設立を

しないのか。

村長 松川町・喬木村発生土置き場について一切関わっていない。飯田市も行政が主導的に何一つやっていない。JRがあきらめたのでこの問題は解決した。

パブリックコメント実施状況は

答 今年3件実施

質問 過去1年間村で実施したパブコメの実施状況と、コメント数は。

総務課長 3件実施。意見はそれぞれ2名、2

パブリックコメント制度 (意見公募手続制度)

行政機関が新たな条例などを設置しようとした際、あらかじめ、その案を公表し、意見を募集し、その意見を考慮して策定する制度。

この5年間で半減している。豊丘村の桃は、全く足りていない現状。提案 今こそ「豊丘村桃団地」の設立を提案。

産業建設課長 60歳未満の農業就業人口は、この5年間で半減している。豊丘村の桃は、全く足りていない現状。

産業建設課長 増産の必要性は感じている。

名、80件。ホームページと有線を使って周知している。

要望 住民の声に耳を傾けた、住民をあてにする村づくりを。



大災害に備えた準備を

答 少しずつ着実に

竹村 直子 議員



中央保育園に設置された耐震防火水槽のふた

質問 三六災害や熊本地震のような大災害の対策は十分か。

村長 あれだけ大きなものには対応できない。少しずつ出来ることをやりたい。

質問 業務継続計画の進み具合は。

総務課長 村長職務代理は以前から副村長以下優先順位が決められている。代替え庁舎は、ゆめあるてを想定。

ハード面はこれから整備が必要。今、業務ごとの整理をしており、秋頃には計画を出したい。代替え庁舎の設備整理は、予算措置を得る中で数年の内に。大災害はいつ起きるかわからないので、先延ばしはしない。

避難所に太陽光発電を 答 発電機で対応

質問 昨年視察研修先の岡山県奈義町では、各地区に耐震耐火倉庫があり避難所と併設されている。避難所は太陽光発電と蓄電池が備えられていた。豊丘の避難所に太陽光発電や雨水タンクの設置を考えないか。

総務課長 太陽光発電は日照がないと発電能力低く、豪雨災害を想定するとそぐわない。主な避難所には発電機を装備している。飲料水については、一日最大能力96tの緊急浄水器を一基確保している。ゆめあるて、中央保育園、役場に設置した100t級の地下式防火水槽もあり、十分。飲料水以外は、河川水等利用で対応と考える。

要望 地震災害には太陽光も発電する。河川

質問 昨年の視察研修先の岡山県奈義町では、各地区に耐震耐火倉庫があり避難所と併設されている。避難所は太陽光発電と蓄電池が備えられていた。豊丘の避難所に太陽光発電や雨水タンクの設置を考えないか。

総務課長 太陽光発電は日照がないと発電能力低く、豪雨災害を想定するとそぐわない。主な避難所には発電機を装備している。飲料水については、一日最大能力96tの緊急浄水器を一基確保している。ゆめあるて、中央保育園、役場に設置した100t級の地下式防火水槽もあり、十分。飲料水以外は、河川水等利用で対応と考える。

質問 自主防災組織や支え合いマップの取り組みは。

総務課長 万全とは言えない。

要望 支え合いマップは災害時のみならず日常の助け合いにも役立つので、進むよう呼びかけを。



この下に100tの水が

かけを。

質問 H15〜26年の間住宅耐震診断数392に対し改修工事はずか15。促進対策は。

産業建設課長 診断後なかなか進まない。H27年度から新築も対象になった。

質問 安価で可能な寝室のみの補強や寝ているスペースだけを守られる様な手段にも村単独補助を。

産業建設課長 リフォーム助成金で対応したい。



介護保険「新総合事業」の単価upを 答 事業の動向により見直しを考える

唐澤 啓六 議員



はやしの杜 リハビリ風景

質問 16年を経過した介護保険制度は、何度も中身が改定され本年度においても大きな変更がされた。軽度者を対象とする地域支援事業において、「新総合事業」への移行が開始され利用者にとつても又、事業者にとつても心配な事態が生じている。利用者側からの問題は、軽度者(要支援1・2)の通所系サービスの利用制限と見受けられるケースである。介護保険の利用を卒業させ、ボランティア

による事業(ミニデイサービス等)への移行を持ちかけられている事例がある。本人はこれまで通りの利用を希望されており、これを尊重すべきである。一方事業者側にとつては、安い事業単価による経営への深刻な影響が生じていることである。事業単価が現行(介護報酬)の70%となったことで、社協が運営する、はつらつでのデイサービス事業は年間数百万円に達する大きな赤字が生ずると心配

されている。年度途中での事業単価の見直しが可能であれば検討すべきである。健康福祉課長 卒業という考え方ではなく本人や事業所の担当者との話し合いの中で、新たな

サービスへの移行についてその必要性を説明し理解していただく中で移行を進めていく。今回の例は、相談する時期が遅くなって、利用者不安を持たれたので適切な時期に相談していききたい。総合事業の単価については、サービスの基準を緩和して近隣市町村と同一

の70%とした。社協からも4月の実績が赤字と聞いているので、もう少し様子をみて事業所と相談していききたい。村長 事業単価の経営への影響については聞いています。事業の動向を一定期間見る中で、必要があれば単価の見直しをしていききたい。

リニア残土置場の情報提供は取り下げを

答 JRが断念したので必要ない

質問 リニア建設は民間事業といえども、巨大な国家的プロジェクトであり行政が関わりを持つことは必要である。行政が、事業者であるJR東海に協力することは否定しないが、もっと大切なことは建設に伴う住民の不安や生活への影響にしっかりと対処することである。特に、トンネル残

土の処分については住民の不安が大きい。しかし、その処分候補地選定についての過程が不透明であり、議会への報告も不正確である。中でも源道地地籍については、県への情報提供する際議会へは相談もなく、県への報告後2ヶ月以上経ってから説明をしている。又、関係地区への説明等も

不十分であり、その結果小園地区有志による反対運動が大きな反響を呼ぶこととなった。村は小園地区住民の気持ちを理解し、県への情報提供を取り下げるべきである。村長 発生土置場について地権者や下流域住民にひとかけらの説明もなく勝手に県に情報提供した村が悪いと言われるが、それは解釈が違ふと申し上げている。発生土置場については、飯田市や松川町、喬木村では行政は一切関わっていない。下流域の同意どころか地権者が誰なのかも知らない。JR東海という強大な力を持つ組織に直接住民が接することは非常に圧力がある。そこで豊丘村では村が関わろうとしたところである。源道地処分地はJRが断念したので県から引き下ろせるものは何もない。



村の駅、破綻・苦戦事例と原因は

答 最初から無理な計画などが原因

松下 亨 議員

質問 全国には道の駅が数多くある。その中で、第三セクター（地方公共団体が出資をして設立した法人）が運営する道の駅も多いと聞く。そこで、これら第三セクターの道の駅の中で、経営破綻や破綻には至らないが苦戦中の道の駅の事例と、その原因についてどのように把握しているか。

産業建設課長 経営破綻した事例としては、山梨県の南アルプス市の道の駅がある。現在、苦戦中は北信（木島平村）がある。破たん等の原因は、最初から無理な計画でスタートしたり、マーケティングが不十分であったりと考えている。

指摘 村内のある若者が第三セクターに関する報告書（まちビジネス事業家木下斉氏執筆）を届けてくれた。内容は、三セク運営での警鐘事項。示唆に富ん



「村の駅」特別委員会で視察 農産物直売所 上田市 あさつゆ

だ内容なので参考にされたい。

経営破綻時の債務負担は

答 公共・公益性の部分は村に

質問 第三セクターの経営健全化に関する国の指針が示され、首長・

張市などの破綻事例か

質問 第三セクターの経営健全化に関する国の指針が示され、首長・張市などの破綻事例か

ら三セク運営について留意事項が示されている。これに照らして質問する。最悪を想定するが破綻時の債務負担はどうなるか。

産業建設課長 新法人は株式会社を想定しているが、債務負担は経営陣と株主になる。

しかし、公共性・公益

完全民営化の道筋はどうか

答 将来的には議論が深まる

質問 指針では、当初は村で出資してスタートしても一定の時期には回収して完全民営化にすべきとある。完全民営化の道筋はどうか。

産業建設課長 民営化の議論は将来的には深まっていくと考えるが、現段階では三セクでスタートする。

指摘 完全民営化について国の指針では「特に公共性・公益性が高い事業を除き投入資金の回収が困難な場合に

性ある部分は、村に責任が及ぶと考える。

質問 債務負担はあくまで出資比率分ではないか。また、一口出資者の責任はどうなるのか。

産業建設課長 8月以降の出資者募集時まではきちんと説明できるようにする。

は三セクの事業化は断念すべき」とある。この点に関しては今後議論していく。

この事業は、豊丘村の命運をかけた事業。村内には根強い慎重論がある。特に、第三セクター方式による村の財政リスクを心配している。今後、いくつかの大事な議案が提案されるので、しっかりと検証して臨みたい。



食品ロスを減らす30・10運動推進を 答 宴会の多い時期をねらって啓発していく

平澤 恒雄 議員



食品ロスゼロ、完食された宴会料理（伴野地区）

質問 食べずに捨てる食品ロスについての考えは。村長 賞味期限が切れた後でも、牛乳なら1週間、缶詰や調味料なら1年間は食べられる。消費期限の切れたものは店に置けないし、消費者も買わないので、悲しい思いだ。

質問 子供の頃に、この気持ちに基づいてい

る。質問 4月の熊本地震に際し、村では4000食の災害備蓄食料品を提供した。食品ロス削減の観点からも有意義だった。村の災害備蓄食料品の全体量と消費期限での入替え品の処分方法は。

総務課長 今年度5960食を購入すると9580食となる。賞味期限が残り1年となるものを、総合防災訓練の際に無償で配っている。

質問 昨年フードバンク信州というNPO人が設立された。そのNPOでは、食品会社の規格外品や一般家庭の

質問 松本市では残さず食べよう30・10運動をしている。乾杯後30分と、お開き前10分は、動き回らないでしつかり食べようというもの。当村でもやってみてはどうか。

AED耐用年数更新は村の主導で 答 更新費用を補助する体制に

質問 AED（自動体外式除細動器）の村内配備状況は。

総務課長 学校や保育園に13基、各区の区民会館等に9基設置している。

質問 AEDをコンビ二へ配備する考えは。

高齢者のゴミ出し支援は 答 村内各組織の連携で支援する

質問 高齢者のゴミ出し支援の事例は。

質問 ゴミ出し支援の体制が必要では。

環境課長 ヘルパーが持ち帰る回収が20件ほどある。

村長 村、民生委員、介

更新は30万円かかる。

質問 耐用期間による

村の駅とよおか(仮称) 特別委員会設置される

委員長 片桐 忠彦

村の駅とよおか(仮称) 特別委員会設置までの経過

村の駅とよおか(仮称)の構想に当たっては、平成24年に6次化プロジェクトを立ち上げ、「豊丘村まるごと6次産業の村づくり」としての検討を重ねる中で、この構想が施策として検討された。

平成27年5月には開設準備委員会及び5専門部会が設置され、具体的な検討に入った。その後村は、

色々な内容や方法を模索検討していたが、微妙な内容もあるとのこと、情報として村民にはあまり伝わらなかった。結果的には、検討内容と結果が情報として28年2月に示された。さらに、28年



先進地の視察研修風景

こうした一連の流れの中、付帯決議の検証や、時間も少なく多くの課題を抱えており、本件をいち早く検討対応するには、議会内に「村の駅とよおか(仮称)」特別委員会を設置し検討する必要があるとの考えで、4

3月第1回定例会には、村の駅の調査設計費が、補助事業との関係等で早々提案されてきた。しかし、村民や議会内においても、賛否を含め色々な考え思ひがあり、予算計上より村民の理解を得るのが先

ではとの議論となった。その予算審議の折、村の駅に関わる調査設計費の削除を求める修正動議が出された。しかし、その予算は、賛否僅差で成立した。その折、調査設計の予算執行に当たっては、村民の理解に努める事や、法人の設立を早急に行い充分検討をする中、執行されたい旨の付帯

決議が提出され、全会一致でこれを採択した。4月15日 第1回予備委員会より

委員会での検討内容

月6日の全員協議会において設置する方向となった。当面は予備委

員会を置く事とし、6月定例会で正式決定された。

また出資者の募集説明会を9月頃予定、11月頃までの募集期間としたい報告を受けた。なお募集に当たり施設のイメージも必要であり、プロポーザルで業者を決め鳥瞰図ちやうはんずを作りたい旨説明があった。なお、発起人会の内容は、「村の駅、だより第2号」で報告された。

こうした一連の流れの中、付帯決議の検証や、時間も少なく多くの課題を抱えており、本件をいち早く検討対応するには、議会内に「村の駅とよおか(仮称)」特別委員会を設置し検討する必要があるとの考えで、4月6日の全員協議会において設置する方向となった。当面は予備委員会を置く事とし、6月定例会で正式決定された。

第1回特別委員会より テナントを募集するとのことで、募集要項が示され検討する。募集期間8月10日までとする内容。ホームページに掲載される。また先進地視察の検討も行った。6月9日 第2回特別委員会より プロポーザル実施要領案の検討を行った。

だ

よ

り

総務産建委員会

委員長 井原康明

6月定例会に於いて総務産建委員会に付託された2議案について審査を行った。

6月1日と6日に常任委員会を開催し審査を行い、国民健康保険税条例に関しては、社会文教常任委員会と合同審査を実施した。以下その内容を報告致す。

一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

○審査の結果

全会一致で可決

本議案は今年の4月に施行された改正地方公務員法に伴い、新たに設けられた人事評価の結果の反映規定などについて関係する6条

例の一括改正をしたいためであり、職員の主体的な職務遂行や自己啓発を促し、職員の人材育成と組織の活性化を図る事で、今以上にサービスの向上を図ろうとするものである。

○審査での主な質疑

本議案は職員の降給や降任等に絡むことだが、精神的な病になった場合などの対応はどの様にするのかに対し、障がいを理由に差別するのではなく、条例に沿う事ではあるが、体が早く回復する様に對

応するとの確認をした。

また、自己啓発を図り組織の活性化をすることとは、より良い行政サービスのつながるとの意見もあった。以上の審査から全会一致で可決とした。

国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

○審査の結果

賛成多数で可決

(賛成5・反対1)

本議案は28年度の国民健康保険税率の決定

を6月本算定で行うもので、5月25日実施の国民健康保険運営協議会で審議され、出された答申内容をふまえ、

○審査での主な質疑

・医療費総額は平成21年から、ほぼ横ばいな

ので一人当たりの賦課金は、据え置くべきで原因の分析も必要だ。

医療費支出見込みや実情の動向も検討して、被保険者賦課額を医療分、支援均分と合わせ1人3,513円増額とし、前年より4・9%の増額を行うものである。

・一般会計から繰り入れを行い、一人当たりの賦課額を抑えるべきなどの質疑があった。

・今年度すでに基金の取り崩しにより残高なしで、今後の医療費の動向によっては早急に財源の繰り入れの必要が生じる可能性があるとの回答があった。

・医療費の動向によって変動するの意見もあり、賛成多数で可決とした。



ヘルススクリーニングの血液検査の様子

委

員

会

社会文教委員会

委員長 松下 亨

6月3日に社会文教委員会では、付託された条例案2件と請願2件について審査した。以下、概要について報告する。

豊丘村の自然環境と開発行為との調和に関する条例を可決

太陽光発電設備等の建設は

届け出を

制定の背景は、①農地等への太陽光発電設備を建設する動きがあり、何らかの規制措置が求められていること。②リニア開通に向け様々な開発行為が予想される。

これらに対して、自然環境と開発行為等の調和を図るために制定するものである。

条例の概要

○適用を受ける事業等は、事業区域が300㎡を超える太陽光発電装置や開発行為である。

○設置者の届出書類は、事業計画書や該当自治会と近隣関係

者への説明会に係る報告書などある。審査の経過と結果

質疑では、主として国の制度との関係について出された。県の景観条例は太陽光発電の規制を目的としたものでないため適用は難しいこと。当村は、景観法の景観行政団体ではないため命令等の強制力はないが、制定することによって一定の抑止効果が期待される。

また、対象面積が300㎡としたのは、農業委員会の内規を参考に定めたものである。この条例案は全員一致で可決した。

スポーツ推進審議会

設置条例を可決

制定の背景は、24時間ソフトボール大会の在り方についての課題があった。また、ふるさと大使の丸山克敏先

生からも、スポーツ基本法にそった条例化の提案があり制定するものである。条例の目的は、各種

スポーツの推進に関することについて、調査や審議をするための条例の設置をするための条例化である。委員には、公民館関係者やスポーツ団体の関係者など10人以内を委嘱する。

審査の経過と結果

審査の中では、委員に教育委員が含まれているのは何故か。これは幅広い人材から含めたこと、飯田市でも入っていることである。審査結果は、全委員一致で可決した。

請願の審査

次の2件について行い「採択」とした。

○国の責任による35人以下学級推進と、教育予算の増額を求める意見書提出の請願
○義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願



近隣町村の太陽光発電施設

を審査 JRは源道地を断念

リニア特別委員会活動報告

委員長 酒井 浩文

今定例会に提出された「残土処分候補地の報告取り下げを求める請願」は当委員会に付託され、請願者であるリニア残土NO！小園の会の正副会長を参考人として招致し、6月13日に審査を行った。

◆請願要旨

村内で発生する残土処分計画について、村は「本山」「戸中」「源道地」の3か所を候補地として県に報告しているが、このうち源道地の沢筋の谷を埋める計画は、大災害等による大量の土砂流失で、下流の小園地区に大き

な被害が予想されるとし、①村が県へ上げた源道地の候補地の報告を取り下げること。②

JR東海へ源道地発生土処分候補地に係る設計を中止させること。③沢筋の治山防災状況を調査するよう県へ申請すること。以上3事項を執行するよう村へ求めるというもの。

◆経過報告

平成25年9月26日、伴野原自治会から村へ「リニアトンネル残土を活用した災害防止対策等をお願い」が提出され、平成26年7月11日、村から県、JRに源道地と戸中地籍を候補地として提案した。

残土活用候補地の報告は、活用の可能



リニア残土処分候補地とされた、源道地の牛草川

性がある候補地の報告であり、JRの判断により残土処分地として村側に提案される。平成26年9月18日の第7回リニア特別委員会では、源道地、戸中地籍の候補地としての追加を報告した。平成28年4月28

日、リニア残土NO！小園の会2名来庁し、候補地から源道地地籍を取り下げる依頼があり、主旨を伺い、村からJRに対して断念するよう要望した。6月8日、JRから「源道地については、候補地として今後事業を進めることが困難である」との報告があり、同日の調整会議において候補地から外すことを確認した。

◆質疑より

質問 呼びかけ人に地権者はいるのか。
参考人 3人ほどいるが確かではない。
質問 源道地候補地の県報告の経過は。
リニア対策室 伴野原自治会からの要望と、トンネル坑口から近距離であり残土運搬の距離が短く、住民生活への影響が少ないと判断し、あくまで可能性の

ある候補地の一つとして報告した。

質問 議会報告は事後報告か。源道地候補地はJRからの提案ではないのか。

リニア対策室 あくまで可能性のある候補地の一つとして村から県へ報告し、県からJRへ報告された。その後JRから処分地としての調査を行いたい旨の連絡があり、議会へ報告した。

◆賛成討論

請願の発端は、下流の住民に同意の確認なく村が行った県への報告であり、県および村の対応に対し不透明さを感じる。この請願の目的は、県への報告取り下げであり、源道地候補地を埋め立てる計画が白紙になっても目的は達成されておらず、住民の意見が反映されていない。

参考人を招致し、請願

議会

反対討論

JRは既に源道地候補地を埋め立てる計画を断念する意向を示し、調整会議出席者5団体により源道地地籍を候補地から外すことを確

認しており、請願の主旨は達成している。残土処分候補地の県への報告は、あくまで可能性のある候補地の報告であり、その判断はJRが行うべきものであり、村の対応は適切であった。

委員会では賛成多数で採択

リニア特別委員会開催前に、源道地候補地の計画が断念されたことを受け、候補地決定の経過と背景、判断が焦点となった。結果、賛成7反対5、の賛成

多数で委員会は採択されたが、本会議の採決においては賛成6反対6、の同数となり議長採決により不採択となった。

今後の課題

今回の残土処分候補地選定の取り扱いについては、住民と行政の認識の違いにより、論点がかみ合わないことが見受けられた。今後予想される様々な情報は正確に共有し、重要案件は速やかに報告し、

正確かつ迅速な対応ができる体制を整える必要性が課題として上げられた。



リニア残土処分候補地とされた、源道地の南の沢

表紙の写真

5月28日、今年も福島本村前田の田植えがにぎやかに行われた。秋の収穫の楽しみを思えば腰の痛みも忘れそう。

裏表紙は、壬生沢西、壬生一昭さんの赤ソバが一面ピンクに染めている。



JR、源道地の残土処分計画を断念

(6月9日村から議会へ報告)

6月8日、JRから「源道地候補地について、一部地権者から測量への立ち入り同意が得られないため、候補地として

今後事業を進めることが困難である」との報告があり、同日行った調整会議において出席者5団体(豊丘村・県リニア整備推進局及び

整備推進事務所・伴野区・伴野原自治会・JR東海)により、源道地地籍について候補地から外すことを確認した。

みんぱのページ

シリーズ

私がんばっています



阿部敏政さん
(下市場)

「虫」の飛び交う里 匹数がぞえて20年

私は虫に何か懐かしい郷愁を感じ、この時期に伴野本田を一回りして匹数を数えて20年になります。勿論その前から、近所の人の話によれば、今の勤労者福祉センターができる前(S40年くらい)には、虫が乱舞していたそうです。しかし、その頃は川が大変汚れていた時代で、小さいころから魚とりばかりしていた私も見るのが嫌だったくらいです。それから浄化施設ができて家庭から雑排水が流れなくなり川が復活してきましたが、川の構造のせいかなホタルはあまり見かけなくなりました。

伴野本田は、虹川の水を引いていて元々水がきれいでしたのでホタルも沢山いたと思われませんが、構造改善が行われ川の生物はいなくなりました。それでも工事がされなかつた周辺や上井から落ちる水路には少しは生き延びていたらしく、時間の経過でカワニナが増えたり、U字溝がコケで覆われてホタルの生息環境ができたと思われず。

今年は気候の影響からかホタルの発生も5月下旬と早く、ピークは6月10日頃でしたが数は寂しいものでした。ホタルの生体行動がしにくいと思われる防犯灯とかの課題はありますが、これからも静かに観察ができればいいかなと願っています。

編集後記

遅くとも、6月の内には田植が終わり、稲の成長と共に田んぼの青さが日ごとに増して、今年の田園風景が始まりました。

中山間地では、複雑な形に組み合わされた段々田んぼに水を張り、畦をこしらえ、代をかって田植えをする。その苦勞が偲ばれるからこそ、苗が植え渡った棚田を見ると、その美しさに心をうばわれます。

表紙は、福島本村前田の田植。担い手がおらず荒れていた棚田を、地域の皆さんが復活させました。

日本の原風景を守ろうとの心意気に、最大の敬意を表します。
(平澤恒雄)

発行責任者

議長 下平 豊久

編集委員会

委員長	平澤 恒雄
副委員長	竹村 直子
委員	片桐 忠彦
委員	滝川 利秋
委員	川野 孝子